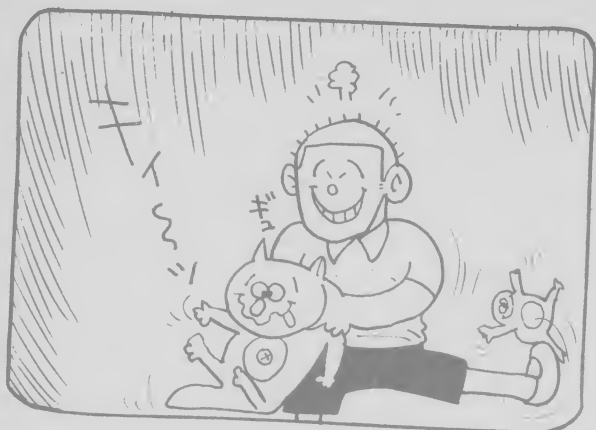
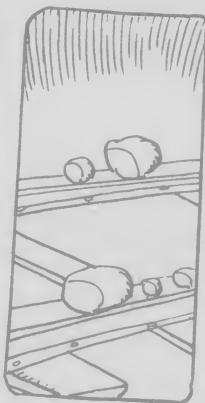
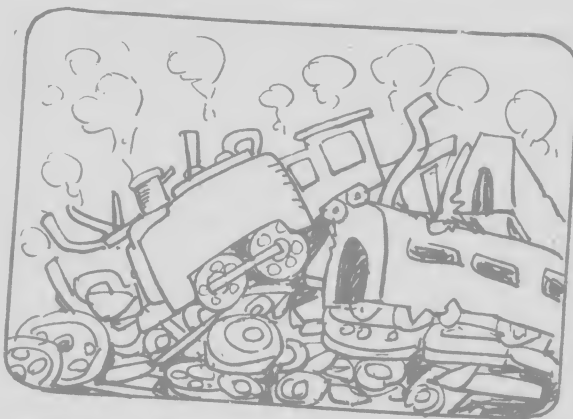
ミステリー・コミックス　66. 6 .18

U. NARUMI

藤沢市宮前町410　鳴海幸保

わしは子供の時から異常なクセがあった。
生き物を見るとムラムラと殺したくなるのだ。
犬、猫、カエル……
そればかりではなく人間までもだ。

五才の時、わしは線路に石コロを並べて、列車を転覆させ、百人の人命をうばったことがある。
その時のあの快感！体中がしびれるようだった。

それからというものまるで何かにツかれたように、バス、電車、汽車と事故を起こして、何百人もの生命をうばったのじゃった。

もちろん、五、六歳の子供がやっていることだとは誰も思いはしなかった。

やがてわしも普通の子供と同じように学校にゆく年頃になった。

ある日、わしは一人の子供がガケの上から小便をしようとしているのを見た。
すると……すると………

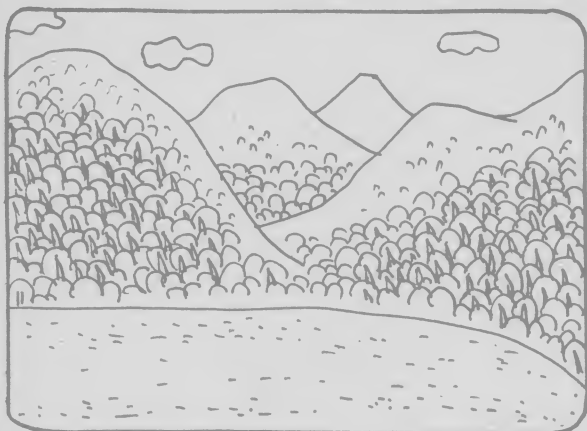
たちまちあの悪魔の声をきいたのだ。殺れ！殺ってしまえ！
ふと見るとそこに、切れてブラ下っている高圧電線………

わしにはパッとある一つの妙案が浮かんだ。
わしは、近くで遊んでいた数人の子供達に、ガケから落ちるといけないからと言って、例の子供を後から押さえさせ………

おい
しっかり
持って
いろよ

結果は明白だった。
水はもっとも電気を通す伝導体だ

ジャーッ
ビビッ
ビッ！

見る見るうちに、数人の子供達は真っ黒なバーベキューとなってしまった。
かりに、これを誰かが偶然見ていたとしても、なんの疑問ももたなかったことじゃろう。

また、ある時は、学校で遠足に行ったが、湖を遊覧船で回遊することになった。
わしはトッサに船底のセンを抜きとってしまった。

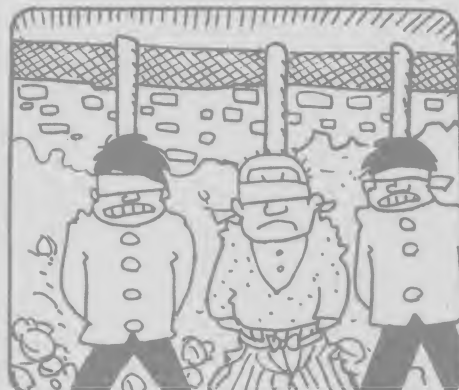
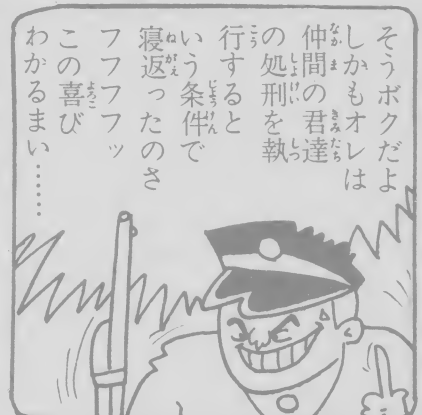
わしは、腹痛と称して船には乗らなかった。

結果は……わしの友人、先生、父兄達の乗った船は、わしの目の前で沈んでいったのじゃ。

やがてわしは大学生となり、最高学府に学ぶこととなった。

そしておきまりの……社会主義運動に身を投じた。

マルクス理論

しかし、それは当時の日本に於いては、非常な危険に身をさらすことだった。
そこでわしは思いついた…

最も卑劣な手を用いたのだ。
そう裏切りである。
ひとつの条件をつけて……。
それは、カムイ伝に言うタレコミ屋、それも殺し屋を兼ねた、である。

なにっ
アカのアジトを！

ただちにアジトを急襲！
逮捕……銃殺………

ゲッ！
そ、その声は、死田！
き、きさま裏切ったのか！

そして……わしはいつか憲兵隊の隊長として、主にスパイを取締まる任務を受持つことになった。

わしはこの仕事が、これほど喜びの多い仕事だとは知らなかった……合法的殺人！こういうことができようか。

さあ
白状
しろ
！

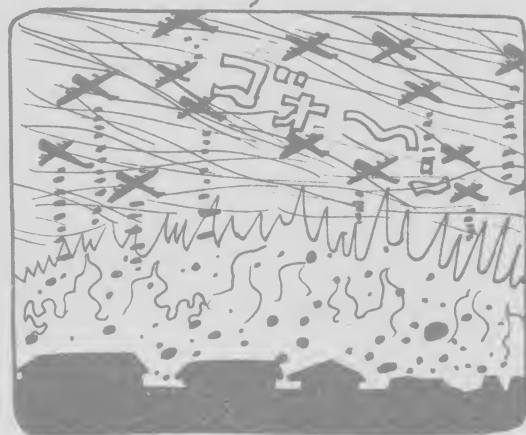
わしは、いつでも人を殺したくなれば、むりやりスパイにデッチ上げれば、非国民として銃殺することができたのじゃ。

ババーン！

殺人を犯せば犯すほど、わしは有名になった。おかしな話だ。ついには表彰状までもらったのだから。

あれはもう戦争が終りに近づいた頃だった。連日の空襲で毎日毎日われわれは逃げ廻っていた…………。

ある日わしは情報局で一つの情報を得た。それは明日の夜、山の手方面に集中爆撃があるということを…………。

そこでわしは、また一つの妙案を思いついた。

部下に命じて行なったこの殺人は見事に成功した。

その夜、山手方面に避難した数千人の市民は、そのほとんどが全滅してしまった。まさに地獄の様相であった。

わしにとってこの地獄図は、すさまじいほど大きな喜びを与えてくれた。悪の華とはこういうことを言うのだろうか。

フフフフッ
君は
若い……
若いのう

終戦の時に軍は重要書類を全部焼いてしまった……。占領軍に対するいろんな証拠をなくすためにだ。

だが、わしはひそかに一部の書類を隠匿しニセの書類を作成したり、書き変えたりした。

そして、それをある国の情報局へ売り渡したのだ……。

そう、もちろんわしの身の安全と引きかえにじゃ。相手の外人は大喜びをした。そのはずじゃ、自分達に手向かった憎い日本人に復讐することができるだから……。その結果、全く無実の人が死刑になったりして、わしのニセ書類は大活躍をしたのじゃ。

そして……戦後わしはある国の力によって保安課長という要職につくことができた。

その真の役目は………日本の赤化防止！日本のコムニストの追放！

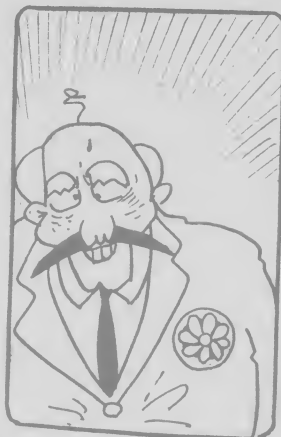
なんと言う幸運なんという喜びなんという世の中だ！

わしは、あらゆる手段を用い、コムニストに挑戦した！

四鷹事件、松河事件、青梅事件……と列車事故を起こし、すべてコムニストの仕業にした。

あるいは、いろいろと社会的にショッキングな事件を続発させ、世間の反感をささそう作戦もとった。

わしは、自分の欲望を満足させながら、トントン拍子に出世していった。これほど喜び多い職業がまたとあるだろうか⁉
そして遂には、国民の選良として、赤いジュウタンをふむ身にまでなってしまった。そう、なってしまったのじゃ。

そうなのだ。わしは一度もそうなるための努力をしたことはない。
だが、世の中はおもしろいものだ。先生先生と呼ばれる身分になったのだ。

その上永年の功績に対し、（永年の功績に対して、とはなんという皮肉だろう）叙勲されることになった。
フフフフ……。

しかし、世間で言う、えらい人になると、なかなか自分の欲望を満足させるチャンスがない。
……そこで………

時々、折をみては、四川島事故、鳥見事故などを起こしている。

ウハハハハハハハハ

フフフフ
わしが
こんな
ことを打ちあけて
そのまま
ノホホンとし
ているると思っ
とるのかねッ

君達の
飲んだコー
ヒーには
毒薬ONSが
入れてあるのじゃ
あと数分の命じ
やよ、ククク

フハハハ
これで
楽しみが
また一つ
味わえる
わい……

鬼っ！
……
悪魔め
殺して
やる！

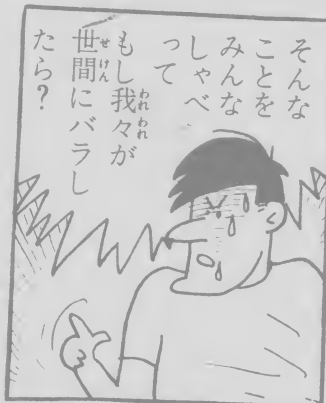
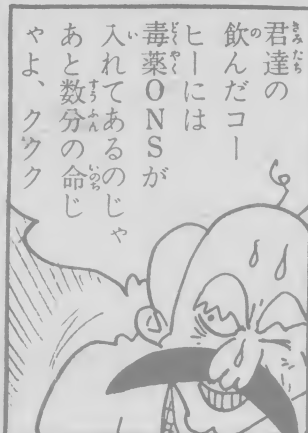
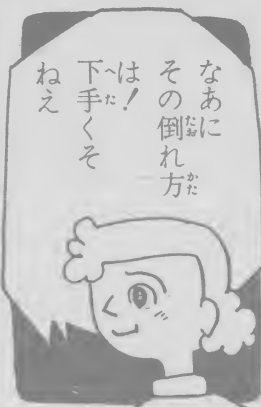
ゲッ
な、
何を
する
！

七ペー
ジの三
コマ目
を見ろ
そばで泣いてい
る子供は俺
なのだ！

ギイーッ
な、なんという事だ！

ドタッ

やった！
父さん！

これで
いい
これで
いいのだ

よォーしっ
きょうはこれで終りにしようぜ
明日またここへ集まること！

END